



**発行所**  
 北海道大学生協同組合  
 札幌市北区北8条西7丁目  
 教職員委員会編集  
 電話 011-746-6218



**北海道大学植物園**  
 教職員写真同好会 伊藤仁浩

**主な記事紹介**

- 四面・五面 **あなたの身近にある生協のお店**
- 六面 **こころの健康を考える④6 しじょう探訪の心算学**
- 七面 **文化財へ行くこう 第一回**

北海道大学大学院 教育学研究院 渡邊 誠  
 北海道大学北方生物園 加藤 克  
フィールド科センター植物園

先月、日中大学フォーラムが上海市で開催され、参加する機会を得た。日本側から25校、中国側も約50校の大学の学長や副学長、さらに政府や産業界の方々が参加し、総勢で400名を超える産官学の交流が盛大に催された。

その時、札幌農学校の2期生で「武士道」の著者、国際連盟の初代事務局次長も務めた、近代日本を代表する国際人である新渡戸稲造先生のこと脳裏に浮かんだ。新渡戸先生は、「我、太平洋の架

「智」とは叡智であり、単なる知識でない。知識とは、あくまでも実践としての知恵を身に付けるための手段に過ぎないのである。また、残りの道徳的な側面は、中国の儒教思想が深く関連している。孟子の言葉の中に「養心莫善於寡欲」がある。意味は、「誰しも、金持ちになりたい、出世したい、他人から認められたいなど多くの欲望を持っているが、一番大切なのは他人から信頼されることである。そのために欲を少なくし、自らを高めないさい」である。正に、クラーク先生が札幌農学校で教えた *Lowly Ambitions* の精髓である。「武士道」の中心をなす「徳」の精神は、世界共通の倫理といえるのである。そこで決心した。今回の講演では「本校は、根底に流れるこの精神を持って国際的な教育・研究に励んでいる」ことを伝えよう。

今回のフォーラムの主旨は「大学の国際化」であった。私も、北海道大学が現在行っている大学の国際化、特に中国との国際化の状況について基調講演を行った。講演後に、会場の中国の方から、自分は北海道大学で勉強した、〇〇先生には大変お世話になった、頑張っていてほしい、などのご挨拶や激励を頂き、本学の140年に亘る諸先生方、さらにその伝統を受け継いだ今の教職員の努力を、現場で直に認識することができた。

**養心莫善於寡欲**

北海道大学総長  
**名和豊春**



**Opinion!**

成果は、先に書いた通りであるが、「中国語で表記して欲しかった」というご意見があった。今回は、日中両母国語での講演会であったが、英語を始めとした「国際的なコミュニケーション」の大切さを痛感したことを最後に述べたい。

まで一ヶ月の期間しかなく、講演内容の選定に苦慮した。現在、世界中の大学が国際化を推し進めており、特に今回訪問する中国は多額の国家予算を投入して、科学技術論文の発表数と質の向上を図っており、同じことを話しても余り意味がないと感じたからである。「日本の、北海道大学の良さ」をどのように伝えるか。

け橋とならん」との志を胸に、生涯を通して祖国への忠誠を貫き、日本の思想と文化を世界に発信した方である。

「武士道」に「教育および訓練」の章があり、「教育において守るべき最初の点は品性を高めること」と、「品性は智・仁・勇を通じて高められる」と述べられている。

「武士道」の中心をなす「徳」の精神は、世界共通の倫理といえるのである。そこで決心した。今回の講演では「本校は、根底に流れるこの精神を持って国際的な教育・研究に励んでいる」ことを伝えよう。



## キャンパス放浪記 in 函館…第11回

# 水産科学館・水産生物標本館

## ～水産・海洋コーディネーターから見た鳥獣“魚”戯画の世界～

水産・海洋コーディネーター 北川 貴子

狭い廊下を抜けるとそこは鳥獣“魚”戯画の世界だった。

社会人となってから、水産・海洋コーディネーターの資格を取るためにいくつかの講義を受講した際の、北海道大学総合博物館分館 水産科学館の感想である。

そう書き出したところで、ふと不安になり久々に水産科学館を訪ねてみた。

数少ない臨時休館日であった。せめて、講義で見たリュウグウノツカイが私の記憶違いでないことだけは確認しようと水産生物標本館を訪ねた。水産生物標本館は非公開で学生でもない私にとっては本当に貴重な体験だった。受講した時は古い建物の中にこれでもかと棚とその中に収集瓶が並んでいて、すべて記録してあるとの説明に「いや、絶対摩訶不思議なものが迷い込んでいる」と心の中で反論した記憶がある。建て替えられた標本館は水産関係資料の保管をするに足る堂々とした研究施設である。昔の記憶を頼りに、先生に階段横のデッドスペースに置かれていた長い長方形の箱の中身の話をすると、リュウグウノツカイとサケガシラと一緒に保管していたそうだ。階段の中段から下に見ないと全体を見ることができないくらい長かったその魚たち。今は青い樽上のものに保管されているのを見せて

もらった。一番上がサケガシラで、その下にリュウグウノツカイが保存されているらしい。

さらに厚意に甘えて、水産科学館を開けていただき写真を撮っていて、鳥獣戯画であることに気が付いた。海鳥やトドの剥製はあるが、魚類の展示がないのである。漁具や船の模型も見当たらない。施設の老朽化で水産科学館本館は閉館し倉庫状態になり、かなりの数の展示品がそこで眠っているそうだ。小学生に自由研究で困ったら水産科学館に行けと助言している私としては由々しき問題である。個人的問題はさておき、一日も早く眠っている展示品を揺り起こし、活躍の場を取り戻せるように祈念するばかりである。

水産科学館での「この剥製はみんな目がかわいいんですよ」と言う先生の言葉が印象に残った。ここには貴重な資料と研究者の愛が詰まっている。

未筆ながら、研究の手を止めてニタリクジラのカメラアングルまでアドバイスしてくださった河合先生に深く感謝いたします。



水産生物標本館



樽の中のサケガシラ。この下にリュウグウノツカイが眠っている



ニタリクジラ



目がかわいいセイウチ

四月の吹雪には驚かされたが二日後、青空の下、街で赤い霧がかかったようなハルニレを見ている！▼半月後の緑の日、北大植物園を元職員、荒井道夫さんの案内で歩く。ハルニレは、花は終り高い枝先に青葉が少しで元気がない。芽吹きが遅い樹だが、都市化による地下水位の低下や大気汚染の影響と荒井さん▼群生する水芭蕉の根元に水はなく、傍の川も細い。高山植物園のツツジも咲いていたのは半分程、他は蕾で開花準備中。咲けば大襟で着飾った貴婦人のようになるクマガイソウも今は細い絵筆のよう。これらが遅いのも水不足のせい？▼ヒマラヤユキノシタ、エゾエンゴサク、ヒトリシズカ…。桃色、青、白。春の草花を見られて楽しかったが、ハルニレが気になる▼園ではハルニレは減り続け、乾燥に強いエゾイタヤが増えているという(「植物園だより」北大植物園の森の変化より)。やはり周囲の開発による水環境の変化が原因の一つと考えられるとのこと。いつか絶滅危惧種になるのだろうか。ハルニレが生きにくい環境とは、と思わない訳にはいかない。樹だけの問題ではないだろう。(今日子)

## いじわるじいさん

四月の吹雪には驚かされたが二日後、青空の下、街で赤い霧がかかったようなハルニレを見ている！▼半月後の緑の日、北大植物園を元職員、荒井道夫さんの案内で歩く。ハルニレは、花は終り高い枝先に青葉が少しで元気がない。芽吹きが遅い樹だが、都市化による地下水位の低下や大気汚染の影響と荒井さん▼群生する水芭蕉の根元に水はなく、傍の川も細い。高山植物園のツツジも咲いていたのは半分程、他は蕾で開花準備中。咲けば大襟で着飾った貴婦人のようになるクマガイソウも今は細い絵筆のよう。これらが遅いのも水不足のせい？▼ヒマラヤユキノシタ、エゾエンゴサク、ヒトリシズカ…。桃色、青、白。春の草花を見られて楽しかったが、ハルニレが気になる▼園ではハルニレは減り続け、乾燥に強いエゾイタヤが増えているという(「植物園だより」北大植物園の森の変化より)。やはり周囲の開発による水環境の変化が原因の一つと考えられるとのこと。いつか絶滅危惧種になるのだろうか。ハルニレが生きにくい環境とは、と思わない訳にはいかない。樹だけの問題ではないだろう。(今日子)



# 2017年度 通常総代会を開催しました

2016年度を振り返り、2017年度の計画等を決定しました。

総代 170名（実出席42名、書面議決128名）の参加により、すべての議案が賛成多数で可決成立いたしました。

2017年度総代会は5月24日（水）開催

議長に佐藤さん（教育学部学生）を選出し、柿澤理事長（農学研究科教員）が生協理事会を代表して挨拶をしました。続いて、豊原



Bパートとして総代と生協職員との意見交換を継続

その後会場を北部食堂に



大学の福利厚生の一部を安心してお任せいただける

課題と推進

学生組織委員長（学生）が第1〜5号議案を提案、坂爪監事会議長（教員）が監査報告の後、直ちに質疑・討論に入りました。質疑は発言通告用紙による全体での質疑・討論（Aパート）を行いました。理事会からのまとめの後、総代170名（内実出席42名、書面出席128名）で採決を行い、全議案を賛成多数で承認・決定しました。また、役員選挙は全候補者の当選が報告されました。

移してのBパートでは、食堂、購買、書籍、トラブル＋キャリアサポートの計4テーマに分かれて1時間程度職員と総代との意見交流会を行いました。各グループでは生協学生組織委員が進行役となり、各現場で働く生協職員とその現場に興味のある総代が参加しました。ここで出されたご意見・ご質問等は、理事・組織委員会・生協職員により、今後の生協運営に活かしていきます。

北大の生協づくりをめざして、生協から学生生活の変化等（学生生活実態調査、食堂利用調査等）について、大学に情報を発信しながら協力して進めてまいります。身近で役に立つ、やさしい生協づくりをめざすために、「組合員の声」を中心に、「組合員のみなさん」のご要望等を把握して、出来るだけ早く改善に結び付けます。品揃え・調理・接遇・広報などで、他店に負けないように努力します。また利用環境の改善に向けた提案を強化していきます。



## 2017年度の役員名簿

〈理事長（代表理事）〉

柿澤 宏昭

〈副理事長〉

吉見 宏

〈専務理事（代表理事）〉

岸本 敬一

〈理事〉

勝山 憲明

寺澤 睦

工藤 勲

羽山 広

藤田 良治

三上 直之

笠原 敏史

谷原 直史

相田 遼大

中山 拓登

高橋 真太郎

中橋 和也

高橋 和也

藤原 魁佑

豊原 涼太

越智 亮太

稲垣 征哉

小笠原 明樹

西岡 尚樹

〈監事会議長〉

坂爪 浩史

〈監事〉

赤井 雄太

河嶋 翔

久保 淳司

熊谷 淳司

# お店散策 ⑩ 北大キャンパス あなたの身近にある生協のお店

学生・教職員の皆様のキャンパスライフをサポート

## 札幌キャンパス

店名	サービス部門	営業時間			備考	食堂 席数	連絡先 内線
		平日	土曜	日曜・祝日			
1 生協会館店	購買 組合員加入受付可	8:00~19:00	10:00~15:00	閉店	サービスカウンター 平日 9:00~19:00 土曜日 10:00~15:00	購買 2979 P C 2983	
	保険サービス	10:00~18:00	10:00~13:00	閉店			3287
	書籍部 キャリアサポート	10:00~19:00	10:00~15:00	閉店		書籍 3258 キャリア 3837	
2 クラーク店	印刷・情報サービス	10:00~18:00	閉店	閉店	学会・研究会サポート業務		2084
	ルームガイド マンション管理 学生総合共済	10:00~18:00	10:00~13:00	閉店		ルームガイド 3282 共済 3269	
3 農学部店	食堂	11:00~19:00	11:00~14:00	閉店		176	3259
	購買	11:00~15:00	閉店	閉店		97	
4 理学部スモールショップ	購買 (食品のみ)	10:00~13:00	閉店	閉店			—
5 文系棟スモールショップ	購買 (食品のみ)	10:00~13:00	閉店	閉店			—
6 中央店	コップパン	10:00~18:00	10:00~15:00	10:00~15:00	焼きたてパン提供		3297
	購買 組合員加入受付可	9:00~21:00	9:00~19:30	10:00~16:00	サービスカウンターは 平日9:00~17:30の 営業のみ		3297
	1F食堂	10:00~20:00	11:00~19:00	11:00~15:00		216	2085
7 医学部店	2F食堂	11:00~14:00	閉店	閉店	ハラルメニュー 2点 出食サービスあり	167	2085
	食堂	11:00~18:00	11:00~13:00	閉店		115	5026
8 保健学科店	購買	10:00~18:30	閉店	閉店			2833
9 薬学部店	購買	10:00~19:00	10:00~14:00	閉店	イートインコーナーあり		3266
10 歯学部店	購買	10:00~18:00	閉店	閉店			3838
11 工学部店	食堂	11:00~20:00	閉店	閉店		384	6163
	購買 組合員加入受付可	9:30~20:30	11:00~15:00	閉店			6164
12 北部店	食堂	8:00~20:00	10:00~14:00	閉店		1100	5264
	購買 組合員加入受付可	8:15~20:00	10:00~14:00	閉店	サービスカウンター 平日 10:00~18:30 土曜日 10:00~14:00		5424
	書籍	10:00~18:30	10:00~14:00	閉店			5423
13 獣医学部店	トラベル	10:00~18:00	閉店	閉店			5124
	購買	10:00~17:00	閉店	閉店	イートインコーナーあり		5182
14 レストランポプラ	食堂	11:00~14:00	閉店	閉店	ビュフェスタイルメイン	142	9058
15 学生寮店	購買						
16 エルムの森ショップ・カフェ	北大ショップ	8:30~17:00 (休業日 12/29~1/3)					2099
17 北大ミュージアムショップ	北大ショップ	10:00~17:00 (月曜日閉店)					3741

## 函館キャンパス

18 函館水産店	購買 サービスセンター 書籍	10:00~18:00	閉店	閉店			(14) 2816
	食堂	11:00~14:00 17:30~19:00	閉店	閉店			(14) 2814

店舗の詳細な案内は ▶ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/coomap/>  
 営業時間は ▶ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/bhours/> をご覧ください。  
 なお、北大生協の外売営業についてのご紹介は、別の機会とさせていただきます。

毎月開催している教職員総代会議にて、「中央厚生会館」施設をテーマに、北大キャンパスマスタープランとも絡めて施設に関する機能と生協に対する期待について、お弁当の品揃えやカフェの設置、中央食堂へのアクセス、営業時間等々様々なご意見をいただきました。

今回、北大キャンパスで生協が運営している店舗の全体像を知っていただくために、キャンパスの中で北大生協がどこどのようなサービスを提供しているか、イラストマップと表にして全店舗をご紹介します。



- 購買と保険、書籍・キャリアサービスなど非フードサービスにて複合サービスをおこなっている店舗
- 購買・食堂と複合サービスをおこなっている店舗、または食堂と購買以外の複合サービスをおこなっている店舗
- 購買 (コンビニ店タイプ) 単独店舗
- 北大ショップ

**店舗のタイプ**  
 コンビニサービスだけと食事も提供できる店舗

学部棟の中にある店舗では、購買 (コンビニ) サービスだけの店舗が多く、医学部保健学科棟、薬学部棟、歯学部棟、動物病院と比較的最近建て替えられた学部棟に設置されています。青色のマークで囲まれている店舗が該当します。理学部棟や文系棟に設置されている店舗 (4, 5) は、駅ナカコンビニ店のようなスモールショップと呼ばれるようなお弁当・パンなど食品のみ扱う昼食対応のお店です。

**店舗の立地**  
 学部棟内設置と単独施設

生協店舗の多くは、学部棟の中に立地していますが、北部店や中央店それと函館水産店は、福利厚生施設として単独で建てられました。また、クラーク会館は、宿泊や集会室、ホールなど多目的施設として建てられ、食堂・喫茶や書籍部が当時生協店舗となっていました。その後変遷するなかで、現在のようサービス構成となっています。また、医学部店は、当初医学部棟に購買店のみ設置されていたが、医学部棟の建替え時に食事が提供できる施設に移転しました。

学部棟の中に食堂も含めて店舗が設置されている学部は、農学部・工学部・医学部 (福利厚生施設、それと北キャンパス棟) となっています。赤色のマークで囲まれている店舗が該当します。

クラーク会館の東側横の生協会館 (紫色のマークで表示) は、2013年に建替えました。その際トラベルセンターを北部トラベルセンターに併合しました。表に記載している店舗機能のほか、イベントホールと外売セールスの事務所機能などを有しています。

業種では、書籍店が生協会館2階フロアと北部店2階フロアとなっています。トラベルサービスについては、北部店2階フロアの北部トラベルセンターでの扱いとなっています。

印刷・情報サービス部がクラーク会館1階で、ルームガイド・マンション管理、学生総合共済については、2階フロアとなっています。また、保険サービスコーナーは生協会館1階フロアに設置されています。





# 心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

## 渡邊 誠



……さて、前回の続きです。山と積まれたレポート課題、これを採点しなくてはなりません。なんせ、複数の科目が重なる、四百本、文字数にして新書七、八冊分をひと月で、なんてこともあるんです。

まず、注意すべきは公正さです。課題ごとの配点を決め、採点の留意点に照らし合わせて評価していきます。課題に答えている程度(ずれてたり、大部分が課題の前振りだったり)と、理屈として筋が通っている度合(ん？さつきと矛盾してるじゃんとか)、課題の中で考え続けているか(ああ、考えることを手放さないで！と心の中で叫んだり)、講義内容の理解度(そこまでわかる！怖い、という人も)などですね。その他に、血の通っている内容(切れば血の出るようなレポートの人もいます)心理学ですから、心にしみませ、言語化しづらいものを何とか表現しようとして(詩もイラストも音楽もありです)なども、おおいにプラスに評価します。そして、大量に採点するとはいえ、評価に関する問い合わせがあった場合、何とかきちんと説明できる最低限の線は確保しようと思えます。

あと、講義の内容や方法に対する批判的な意見の評価ですね。これはあらかじめ、少なくともマイナスには評価しない、ということ伝えておきます。理由はいくつもあります。学術研究は批判的精神をもって良しとするので、それを授業自体でも目の前に示そうとして、あるいは、人は年齢を重ねるにしがたがって自己愛的(俺のやつてるとは正しいんだ、文句あるか！とか)になりやすいと思うので、それへの防止策として、また、なるべく裏腹な部分をなくすこと、それについては触れないという暗黙のタブーをつくらないという、このために、それが心理学的支援や教育では良いと私は思っていますので、それを授業の中で実現することで、体験的に理解してもらいたい。それに、私は批判されれば腹



を立てたりもしますし、まあ言ってみればそれほど人間が出来ていないと思うので、一種のタガを自分にはめるという意味もありますね。ちなみに、ある時、講義に批判的な感想の人と肯定的な人の成績を較べてみたら、否定的な人の方が高かったということがあったのです。

授業というのは、教師と学生がそれぞれに反応し合いながら、いろいろなものを共有してゆく過程だと思えます。その中には、いつの間にか受ける影響のような、自覚することも言葉にすることも難しい、けれども大切なものが含まれると思っています。両方にとって、ですね。私の「講義を通じて受け取ったものに形を与える」という課題は、それを表現することを求めます。その採点評価ということを通じて、こちらも自分の授業について新たに気づいたり、自分の授業に対する見方や感じ方が揺さぶられて修正を迫られたりします。ときに授業内容について、箸にも棒にも引っかけられないと言われているに等しい強烈な批判を受けることもあります。これについては、すべての学生の役に立つ授業はできないという、当たり前と言えは当たり前の、しかし教師としては痛みを伴う認識を受け入れることが大切だな、と思っています。

なんとも愛らしいイラスト、自分の知らない分野からのあつと驚く視点、私自身にはわからなかった授業の一面を浮かび上がらせる批評、滲み出る切実な思い……。こういったものに支えられ、様々な感情と思考が湧きあがりつつ、採点は進みます。それらが自分の中にいつしか降り積もり、そして、少しずつ言葉になってゆき、少しずつ授業を変えてゆくという感覚があります。授業は究極的には共同作業だよなと、思うゆえんです。

### 学生委員会

■春合宿  
5月12日～14日に大滝セミナーハウスで春合宿を行いました。春合宿では、新入学生委員に生協・学生委員会のことや活動していく上で必要なことを学んでもらうことを、上級生学生委員にこれまでを振り返り、新たな視点での活動の仕方について考えてもらうことを目的に行っていました。新入学生委員に2泊3日の合宿ですべてを学び、理解してもらうことは難しかったですが、これからの活動の中で実感して理解していったらえるかと思っています。上級生としてのかわり方を考えるための合宿となっていました。これから春合宿での経験を活かして活動していきますので、よろしくお願ひします。

■ごみナビ  
6月2～4日に行われる北大祭に合わせて、「ごみナビ」を行います。毎年、北大祭事務局と協力して、北大祭でのごみ分別の呼びかけを行っている活動です。また、分別の呼びかけだけでなく、ごみ問題について興味を持ってもらって活動してもらいます。

■学生委員会連絡先  
[http://hokudai.ac.jp/~HU\\_COOP\\_GI\\_CS](http://hokudai.ac.jp/~HU_COOP_GI_CS)  
[gakusei@coop.hokudai.ac.jp](mailto:gakusei@coop.hokudai.ac.jp)



### 院生委員会

①新入院生歓迎会を開催しました  
4月8日(土)に中央食堂2階にて、新入院生歓迎会を開催しました。  
当日は51名の新入院生の参加があり、いくつかのグループに分かれて立食形式による歓談とクイズ等を交え、交流しました。参加者からは「違う研究科の人と交流できて良かった」など好評をいただきました。

また、歓迎会後に行なった懇親会にも38名が参加し、より親睦を深めることができました。

②院生総代・院生委員説明会開催  
4月25日(火)と4月27日(木)に『院生総代・院生委員説明会』を開催しました。25日は一般参加(総代希望者)1名と院生委員5名が参加し、総代や院生委員について30分ほど説明を行いました。27日(木)は一般参加者3名と院生委員5名が参加しました。説明会に参加いただいた院生さんは、みなさん総代又は院生委員に興味を持っていたようにです。

■院生委員会連絡先  
<http://www.hokudai.ac.jp/~insei/>  
Email: hokudai\_insei@coop.hokudai.ac.jp

**新シリーズに寄せて**

北海道大学の魅力の一つとして、緑あふれるエルムの森と歴史のある建物が並ぶキャンパスの存在が挙げられます。

北大が所有する文化財建築の数は他大学と比べても格段に多く、また、重要文化財指定の明治期木造建築だけでなくRC造の農学部や理学部など、近い将来に文化財として指定されおかしくない建物も数多く残されています。ただ、これらの建物も最先端の研究や教育の場として利用したり、耐震性能などを高めて安全なキャンパスライフを送るための改修が必要で、現代的な活用のために建物の歴史的、文化的価値が失われたり、貴重な建物自体が破壊されてしまう可能性があります。この「文化財へ行く」シリーズ

# 文化財へ行く

第1回

## ～博物館本館の『釘の頭』が意味すること～

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園  
加藤 克



北大植物園内の「博物館本館」

の執筆者である角と加藤は、施設・環境計画室に設置されている歴史資産活用TFの構成員で、建物の価値や、工事に伴って破壊される恐れのある埋蔵文化財（遺跡）へのダメージを極力軽減してキャンパスの魅力を保全するとともに、より活用しやすくするためのあり方について検討する作業に関わっています。

このシリーズでは、文化財がイドにあるような情報ではなく、北大が文化財の価値を守るために行ってきた様々な工夫や知られざる魅力を紹介するという視点で文化財建築を紹介してゆきます。魅力あるキャンパスは、私たちが守り続けることで成立するものだ、ということに気づいていただければと願っています。

**博物館本館の耐震補強工事の内容**

植物園の中心部にある博物館本館は、明治15（1882）年に建設された、日本で現役最古の博物館建築です。平成27（2015）年まで行われていた耐震補強工事に際しては、建物の基本的な構造や外観に影響を与えないように、すべての補強処理は壁の内側や天井裏など、目に付かない部分で行われました（写真1）。しかし、細



写真1 (奥) 建物の構造を改変しないようにはめ込まれた耐震補強材

かな部分ではいくつかの変更が必要でした。外壁をはじめ取り外された部材は、もともとあった場所で再利用することが前提ですが、劣化が著しい壁板や釘などは取り替える必要がありました。この取り替えにあたって、建物が持っていた情報を保つ存するために、工事業者の協力を得て、取り外した材料や釘を、どこで利用されていたもの

であるのかという情報とセットですべて保存することにしました（写真2）。文化財建築の後



写真2 保存された部材

世に改変された場所を明らかにしておくこと、そしてもともと利用されていた板や釘を実際に手に取って利用できるようなこと、建築史研究の材料・証拠としても利用できるようにしたので。

**工事で意図的に改変を行った箇所**

逆に、あえて改変を行った部分もあります。写真3は、博物館入口脇の壁の様子です。実際に足を運んで確認してもらいたいのですが、視線の高さにある釘と、若干高い場所や建物の目につかない部分にある釘に違いがあることが分かります。目につかない部分の釘は私たちが利用する釘の丸い頭であるのに対し、入口脇の釘は四角

い頭になっています。これは、「和釘」と呼ばれる日本の釘です。明治初期にアメリカ人の設計に基づいて建てられた博物館も、日本の伝統的な技術を利用していたことを理解したり、道具としての形状を学びやすくなるために、その和釘が本来利用されていた場所ではなく、見やすい場所に再利用してもらいました。

**歴史的資産の価値に対する理解を深めていくために**

北海道大学の歴史的資産である建築物の価値をどのように残し、高めてゆくか、同時に、文化財管理のルールの範囲内で、どのように歴史的資産の価値に対する理解を深めてゆくか、の検討の結果を「釘の頭」が表現しているのです。北大内の身近な建物の、知られざる魅力を次回以降もお伝えしてゆきます。

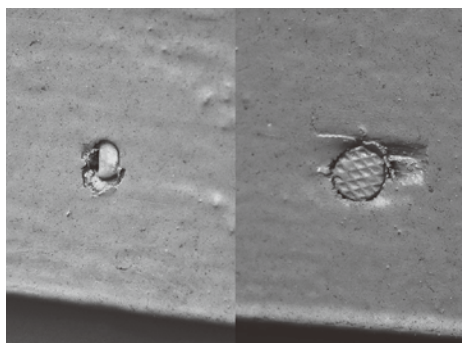


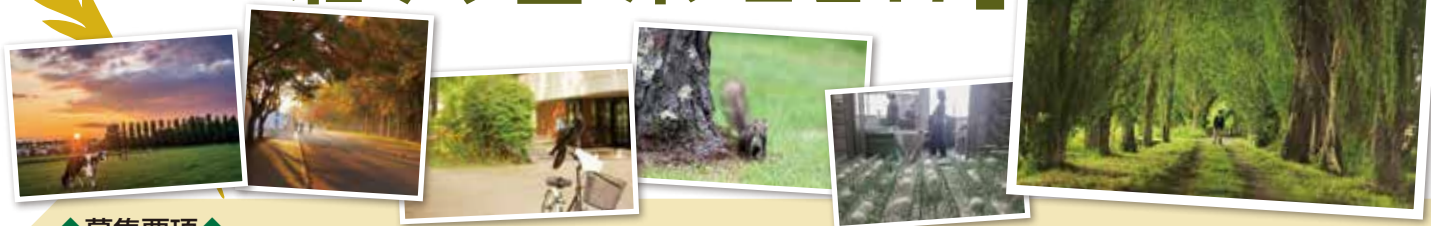
写真3 (左) 和釘、(右) 洋釘



# 北大生協きぼうの虹フォトコンテスト開催!!

## 「北大百景2017」

テーマは



### ◆募集要項◆

- ①参加資格：北大生協組合員であること
- ②募集期間：6月5日(月)～6月30日(金)
- ③賞：特選1名、入選5名
- ④副賞：北大生協プリペイドチャージ (特選5000円分、入選2000円分)
- ⑤募集方法：
  - (1) Webサイトから応募  
北大生協ホームページ、トップページのバナーをクリック。もしくは右QRコードから。
  - (2) 応募フォームにて必要事項を入力の上ファイルを添付ください。
  - (3) 添付画像ファイルは5MB以内としてください。デジタルカメラ・スマートフォン等の媒体は問いません。
  - (4) テーマ：「北大百景 2017」  
北大に関するもの。人物が映る場合は、ご本人の許可を得て投稿して下さい。

- ⑥結果発表：きぼうの虹371号紙面(フルカラー)にて発表。特選は表紙用写真として使用させていただきます。
- ⑦ご注意：
  - (1) ご応募はお一人様一点に限らせていただきます。
  - (2) 入選された作品については、応募者の所属・学年・氏名等を「きぼうの虹」紙面に掲載させていただきます。また、秋には全ての応募写真を展示する写真展を開催する予定です。これらについて、予めご了承下さい。なお、応募写真を生協の広報物等で使用させていただくこともございますが、その場合はあらためて使用についての許可をお願いすることになります。

⑧お問い合わせ先：  
生協会館3F生協理事会室  
Tel：011-746-6218  
E-mail：seikyou@coop.hokudai.ac.jp  
担当：きぼうの虹フォトコンテスト係



フォトコンテストwebサイトQRコード▶

### 留学生委員会

■今春学期の新人留学生・歓迎イベント次々開催・大盛況!  
①4月10日(月)「北大主催春学期留学生オリエンテーション」で生協と留学生委員会の紹介とウェルカムパーティーへの誘いをさせていただきます。  
②4月21日(金)「新入留学生ウェルカムパーティー」を開催。各国各地域からの新入留学生と先輩、家族見学者に時間差で手伝ってくれたオプザーバー・委員を含めた総勢130名以上が集いハラルで用意した飲食物を和気藹々と頬張っていました。ビンゴゲームや自転車無料でもらうための説明を行ない、終了後は日用雑貨品を自由に選んでもらいました。物品の提供にご協力いただいた皆様ありがとうございます。  
③5月8日(月)「中古自転車無料譲渡会事前説明会と手続き会」を開催、マナーや防犯登録の申請手続き、自転車事故の事例や学生賠償責任保険の紹介の後、譲渡会当日の詳細をお伝えしました。  
④5月21日(日)「中古自転車無料譲渡会」を開催。予報に反した大粒の雨と風の中、73人が念入りに自転車を選び、新委員長は緊張しながら作業を担当しました。



### 教職員委員会

■教職員総代会議 学内7ヶ所で8月を除く毎月1回、昼休みを利用して開催しています。生協の営業報告の後、教職員の皆様に利用者の立場から色々なご意見をうかがっています。  
4月は11日、13日、5月は9日、11日に開催しました。  
■教職員委員会 毎月1回、18時～19時半に開催しています。総代会議で上がった組合員の声についての検討、きぼうの虹の編集・発行について討議しています。  
4月は18日、5月は11日に開催しました。  
■「きぼうの虹」この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。  
今号は生協店舗イラストキャンペーンマップを掲載したため、「半分カラー」の変則印刷となりました。次号もフォトコンテストの入選発表なので半分カラーの予定です。  
【編集後記】  
きぼうの虹370号をお届けします。  
キャンパスの緑も色の強さを少し増し、視界の中で存在を主張する季節となりました。6月はフォトコンテストの応募期間です。素敵な写真をお待ちしています。  
今号から「文化財へ行こう」の連載を開始しました。一年間、6回のシリーズです。皆さん是非、紹介された文化財に足を運んでみて下さい。